

若手研究者による古代中近東研究会
**CISMOR 2nd Workshop in 2018 by Young Scholars:
Ancient Near Eastern Studies**

日時：201年12月1日(土) 10:00～17:40

本研究会では、古代中近東の歴史および文化をテーマに、古代中近東の考古学・文献学を専門とする若手研究者による発表を行う。各発表のテーマは古代メソポタミア・古代アナトリア・ヘブライ語聖書世界にかんする研究に及ぶ。

午前

10:00-10:10 初めの挨拶 アダ・タガー・コヘン教授(CISMOR センター長)

司会：山本孟

10:10-10:50 辻坂真也(同志社大学)

「古代メソポタミアの神々と王—神聖王と神格化王の比較と再考—」

10:50-11:30 杉本翔(株式会社プレック研究所)

「「海の民」の軌跡から導かれるヒッタイト帝国崩壊後の土器文化の様相」

昼食

午後

司会：杉本翔

13:00-13:40 山本孟(同志社大学)

「ヒッタイト文書にみる男女の「愛」について」

13:40-14:20 石田温美(筑波大学)

「狩猟採集民と農耕民の製粉具—西アジア先史時代を事例として—」

14:20-15:00 辻田明子(ライデン大学)

「古代メソポタミアの穀物女神たち—ニサバとアシュナンを中心に—」

コーヒーブレイク

司会：山本孟

15:30-16:10 常木麻衣(国士舘大学)

「中央アナトリアの中期青銅器時代における青銅製品について」

16:10-16:50 新井雅貴(同志社大学)

「ヘブライ語聖書の冥界 שְׁאוֹל における死者の性質」

16:50-17:30 増淵麻里耶(国立文化財機構東京文化財研究所)

「鉄器の製作技術にみるヒッタイトの精神文化」

17:30-17:40 終わりの挨拶 アダ・タガー・コヘン教授

コーディネーター: 山本孟(同志社大学神学部・日本学術振興会特別研究員)

アダ・タガー・コヘン(同志社大学神学部教授・CISMOR センター長)

(コメンテーター)

アダ・タガー・コヘン(同志社大学神学部教授・CISMOR センター長)
下釜和也(古代オリエント博物館研究部研究員)
森若葉(国士舘大学イラク古代文化研究所研究員)

(発表者)

新井雅貴(同志社大学大学院神学研究科博士後期課程)
石田温美(筑波大学人文社会科学部研究科一貫制博士課程)
杉本翔(株式会社プレック研究所歴史・文化部門研究員)
辻坂真也(同志社大学大学院文学研究科博士前期課程)
辻田明子(ライデン大学博士課程)
常木麻衣(国士舘大学大学院グローバルアジア研究科博士課程)
増淵麻里耶(東京文化財研究所・文化遺産国際協力センター・アソシエイトフェロー)
山本孟(同志社大学神学部・日本学術振興会特別研究員)

* 本研究会は、日本学術振興会(JSPS)科学研究費 2017-2021 年度基盤研究(C)「Ancient Anatolia and the Bible: Legal Royal Prerogatives and Prescribed Rituals」(17K02234)(代表者：Ada Taggar-Cohen)、および 2017-2019 年度若手研究(B)「紀元前 2 千年紀ヒッタイト王国によるアナトリア支配の実態と王国の境界」(7K13549)(代表者：山本孟)の助成を受けるものである。

主催--同志社大学 一神教学際研究センター